

令和8年度 シラバス 【地理歴史】

科目名	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
歴史総合	1	2	・7実教 歴総007-902 歴史総合 新訂版 むすびつく世界と日本 (実教出版) ・46帝国 地図046-901 新訂高等地図 (帝国書院)	歴史総合演習ノート (実教出版)

◇科目の概要と目標
 社会的現象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れ構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

◇科目の観点別評価の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・資料を歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けているかを評価する。	・事象の背景や原因・結果や影響などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現できているかを評価する。	・学習を振り返りながらよりよい社会の実現を視野に課題を追究しようとしているかを評価する。

月	4月		5月		6月		7月		
科目名	単元1		単元2		単元3		単元4		
歴史総合	歴史の扉 歴史のひろば① 1江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2江戸時代の生産・流通と諸改革 歴史のひろば② 3幕政の改革と東アジア世界 歴史のひろば③ 4イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5フランス革命とナポレオン体制		6アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 歴史のひろば④ 7オスマン帝国の衰退とロシア 歴史のひろば⑤ 87～1914年の戦争の衝動と日本の開国 9江戸幕府の滅亡		10イギリス・フランスの繁栄とイギリスの統一 11明治政府の諸改革 歴史のひろば⑥ 12日本のアジア外交と国境問題		13自由民権運動と大日本帝国憲法 歴史のひろば⑦ 14帝国主義の時代へ 15朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16日清戦争後の東アジア 17日露戦争と東アジアの激動 18日本の産業革命	期末考査	
知識・技能	・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解できているかを評価する。		・19世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀とその前後の世界の経済と社会を理解していることを評価する。		・19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解していることを評価する。		・19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産や流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済や社会を理解していることを評価する。		
思考・判断・表現	・資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現しているかを評価する。		・19世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		・19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパとその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		
主体的に学習に取り組む態度	・「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特徴について、主体的に理解を深めようとしている姿勢を評価の参考にする。		・19世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考にする。		・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考にする。		・帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考にする。		
月	7月		9月		10月		11月	12月	
科目名	単元5		単元6		単元7		単元8		
歴史総合	歴史のひろば⑧ 近代化と現代的な諸課題		国際秩序の変化や大衆化への問い 19第一次世界大戦 20ロシア革命とソ連の成立 21米騒動と大正デモクラシー 22ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23アジアの民族運動 24第一次世界大戦後の欧米諸国 25ひろがる社会運動と普通選挙の実現		26歴史のひろば⑨ 27世界恐慌と各国の対応 28フロンティアの時代 29満州事変と軍部の対立 30日中戦争と戦時体制 31第二次世界大戦の勃発 32第二次世界大戦の終結		歴史のひろば⑩ 32国際連合の成立と冷戦 33日本の占領と日本国憲法 歴史のひろば⑪ 34朝鮮戦争と日本 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		期末考査
知識・技能	・世界の市場の形成についての記述をふりかえって、19世紀に近代化がすすんだヨーロッパと、立場が逆転したアジアの社会の変化について理解できていることを評価する。		・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソ連の成立とソ連の国際連合の加盟、フロンティアの動向と国際連合の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協定体制を理解し、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政治参加、大衆消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広まりについて理解できていることを評価する。		・世界恐慌、フロンティアの神話、日本の対外政策などを基に、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の協定体制の動向を理解している。第二次世界大戦の展開を理解できていることを評価する。		・国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の協定体制の動向と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できていることを評価する。		
思考・判断・表現	・工業化で生じた経済格差の解決をめざす取り組みや思想について資料を活用して、多面的に考察し、課題について、協働的に考察し、適切に表現しているかを評価する。		・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戰後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協定体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協定体制の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戰後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と特徴、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		
主体的に学習に取り組む態度	・地図や資料を活用して、19世紀の社会の変化が現在にまで及ぼしている影響について、意図的に考えようとしていることを評価の参考にする。		・20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考にする。		・世界恐慌やフロンティア開拓の頃の日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考にする。		・第二次世界大戦後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考にする。		
月	12月		1月		2月		3月 年間		
科目名	単元9		単元10		単元11				
歴史総合	グローバル化への問い 35植民地の独立		歴史のひろば⑫ 36米ソ連露露の動揺 歴史のひろば⑬ 37日本の国際社会復帰と高度経済成長 38石油危機と世界経済		歴史のひろば⑭ 39緊張緩和から冷戦の終結 40日本の経済大躍進 41地域紛争と対立 42国際秩序の変容 歴史のひろば⑮ 現代的な諸課題の形成と発展		学年末考査 総合評価		
知識・技能	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読みとったり、まとめる技能を身に付けていることを評価する。		・植民地化とアジア諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解し、西ヨーロッパや東南アジアの地域経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解できていることを評価する。		・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解し、冷戦の終結、民主化の進展、地域経済の拡大と変容、地域紛争の拡大とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解できていることを評価する。		・各学期の定期考査における基礎用語の定義を総合的に評価する。 ・授業プリントへの記述ができているかを評価する。		
思考・判断・表現	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用して、グローバル化による生活や社会の変容について考察し、問いを表現しているかを評価する。		・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域経済の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域経済の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現しているかを評価する。		・各学期の定期考査における資料を活用する思考問題・判断問題の定義を総合的に評価する。 ・探究型のテーマ学習を活用して、思考を深めることができているかを評価する。		
主体的に学習に取り組む態度	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から、情報を読みとったりまとめた、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている姿勢を評価の参考にする。		・1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考とする。		・1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていることを評価の参考とする。		・長期休業中の課題、時事問題への興味関心、自らの考えを持ち、意見を述べることができているかを評価する。 ・グループ学習の活用でクラス内での対話学習により、考えが深まったどうかワークシートの記入や発言で評価する。		